

マカジキ 中西部北太平洋

Striped marlin *Kajikia audax*



管理・関係機関

中西部太平洋まぐろ類委員会 (WCPFC)
北太平洋まぐろ類国際科学委員会 (ISC)

生物学的特性

- 最大体長：下顎叉長 214 cm
- 寿命：調査中
- 性成熟年齢：台湾近海で約 5 歳、ハワイ近海で 3~4 歳 (50%成熟年齢)
- 産卵期・産卵場：周年 (主に 4 月から 9 月)、中西部太平洋 (北緯 30 度~0 度にかけての海域)
- 索餌期・索餌場：調査中
- 食性：調査中
- 捕食者：調査中

利用・用途

刺身、寿司、切り身 (ステーキ、煮付け)

漁業の特徴

我が国の漁獲のほとんどがはえ縄と流し網によるものであり、近年、はえ縄の割合は増加傾向にある。漁獲の大部分はマグロ類を対象とした操業の混獲であるが、釧路沖、常磐沖、房総沖、南西諸島等では、はえ縄、突きん棒及び流し網が季節的に本資源を主対象とした操業を行っている。

漁獲の動向

我が国の本資源の漁獲量は、1970 年代に 1 万トンを超えていたが、その後減少を続け、2022 年の漁獲量は 761 トンであった。ISC が集計した本資源の総漁獲量は、1960 年代前半までは 1 万トン以下であったが、その後急激に上昇し 15,000 トン以上に達した。1970 年代半ば以降は、多少の増減を繰り返しつつも一貫した減少傾向を示し、2022 年は 1,450 トンとなっている。

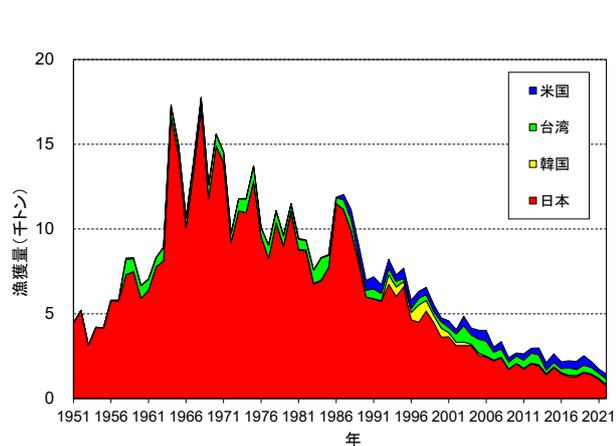
資源状態

最新の資源評価は、2023 年 4 月に ISC かじき類作業部会によって実施された。資源評価モデルは統合モデルの Stock Synthesis 3.30 が使用された。資源評価の結果、2021 年の資源状態は乱獲状態にあり、過剰漁獲されているとされた。ISC は、資源評価の結果に様々な不確実性が含まれていることを指摘しており、2024 年に資源評価の外部査読を行うこととなった。

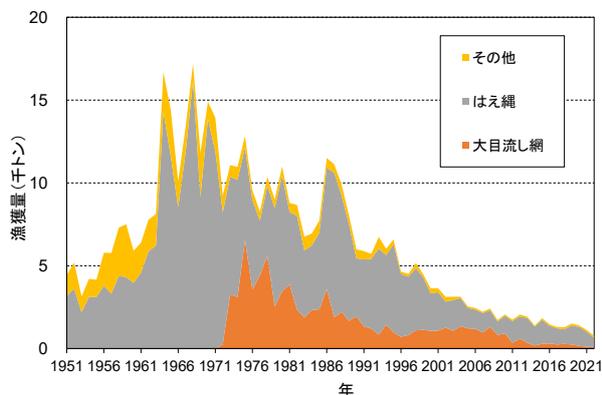
管理方策

WCPFC は、本資源の保存管理措置として、各メンバーが漁獲量を 2000~2003 年の最高漁獲量から 2011 年は 10%、2012 年は 15%、2013 年以降は 20%削減することを 2010 年に決定している。2019 年の WCPFC 年次会合では、資源評価の結果を受けて暫定的な資源回復計画に合意した。当該計画では、本資源の暫定的な資源回復目標を、2034 年までに少なくとも 60%の確率で漁獲がなかった場合の産卵資源量の 20% (20%SSB_{F=0}) を達成することとした上で、当該回復目標を達成するための保存管理措置の改正を今後検討することとされている。

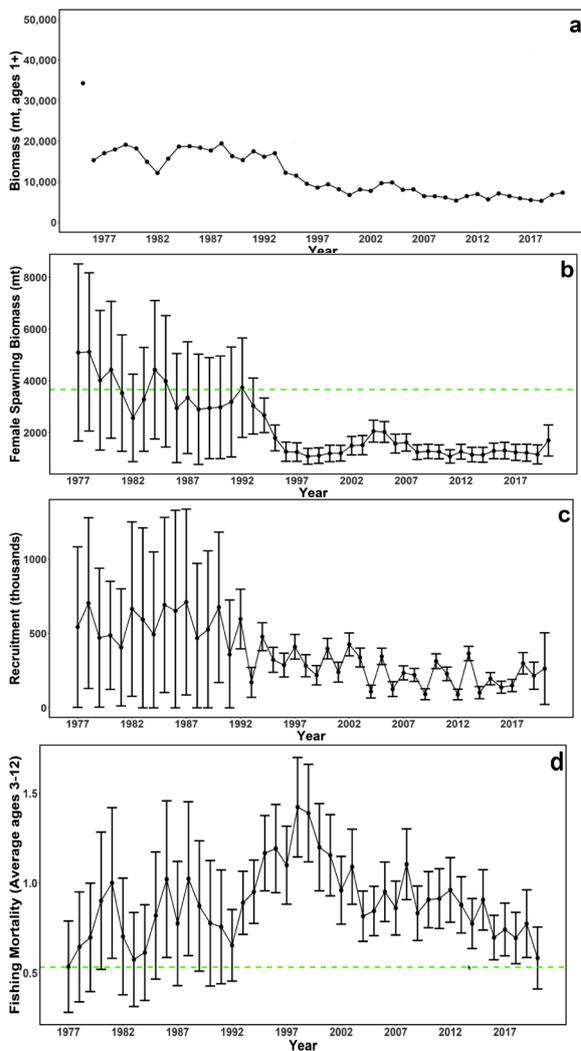
マカジキ（中西部北太平洋）の資源の現況（要約表）	
世界の漁獲量 (最近5年間)	1,450~2,524 トン 最近 (2022) 年: 1,450 トン 平均: 2,017 トン (2018~2022 年)
我が国の漁獲量 (最近5年間)	761~1,510 トン 最近 (2022) 年: 761 トン 平均: 1,212 トン (2018~2022 年)
資源評価の方法	統合モデル (SS3.30)
資源の状態 (資源評価結果)	B_{2020} : 7,339 トン SSB_{2020} : 1,696 トン、 $20\%SSB_{F=0}$: 3,660 トン ($SSB_{2020}/20\%SSB_{F=0}$: 0.46) $F_{2020}/F_{20\%SSB_{F=0}}$: 1.09 2020 年の資源状態は、過剰漁獲かつ、乱獲状態である
管理目標	暫定的な資源回復目標を、2034 年までに少なくとも 60% の確率で $20\%SSB_{F=0}$ を達成することとした上で、当該回復目標を達成するための保存管理措置の改正を今後検討する。
管理措置	各国・地域が漁獲量を、2000~2003 年の最高漁獲量から 2011 年は 10%、2012 年は 15%、2013 年以降は 20%削減
管理機関・関係機関	WCPFC、ISC
最新の資源評価年	2023 年
次回の資源評価年	2028 年 (2024 年に外部査読実施)



北太平洋におけるマカジキの国・地域別漁獲量 (ISC 集計分、1951~2022 年)



北太平洋におけるマカジキの我が国の漁法別漁獲量 (1951~2022 年)



統合モデルの解析結果 (1977~2020 年)

(a) 1 歳以上の総資源量 (トン)、(b) 産卵親魚量 (トン)、(c) 加入尾数 (千尾)、(d) 漁獲死亡係数。b、d で示された緑の破線は、それぞれ $20\%SSB_{F=0}$ に対応する産卵親魚量、 $20\%SSB_{F=0}$ を達成するために必要な漁獲死亡係数を示す。